



# ふねあいのひろば

第29号



左から浦上岡山市・新竹市友好都市議員連盟会長、野津岡山市国際交流協議会会長、鄭元新竹市議会議員、高谷前岡山市長、許新竹市長、則武岡山市議会議員、三木前岡山市議会副議長、金谷前岡山市副市長



名誉会長  
岡山市長 **大森 雅夫**

## ごあいさつ

会長 **野津 喬**

岡山市国際交流協議会におかれましては、平素から、市政の推進、とりわけ岡山市の国際交流事業に多大なご貢献をいただいており、皆様方の熱意とご尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

私は、市民の皆様のご支持、ご支援を賜り、昨年10月に市長に就任して以来、「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」の3つの視点を大切に、皆様方と一緒に考え、一緒に行動しながら、世界に開かれた魅力と活力あふれる都市づくりを進めております。こうした取組の推進には、岡山市の国際交流や多文化共生社会の推進に日夜ご尽力いただいております皆様方のお力添えが欠かせないものであり、今後とも、岡山市のさらなる国際化の進展に向けて、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、岡山市では今秋、「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催されます。この会議は、国内外から約3千人が参加され、このうち、海外からは約800人の方が本市に来られると見込まれており、地域を挙げて、持続可能な社会づくりに向けた取組の成果を「ESD岡山モデル」として岡山から世界に発信していく大舞台です。また、岡山市にとりましては、国際交流や環境保全などに関する草の根の取組や岡山の自然、歴史・文化、食などの魅力をPRする貴重な場でもあり、皆様方には、世界会議の成功に向けてご支援・ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

会員の皆様におかれましては、平素より、当協議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新竹市との友好交流協定締結10周年を記念し、新竹市からは市長を団長とする訪問団をお迎えするとともに、本市からも市民の皆様とともに新竹市を訪問し、両市の友好の絆を一層深めてまいりました。また、これまでのサンノゼ市高校生親善大使訪問団の来訪や国際サマーホームステイ、国際理解出前講座に加え、新たに就学前の子どもたちを対象とした「外国語による絵本の読み聞かせ会」や「やさしい日本語」講座の開催など、本市の未来を担う子どもたちの国際理解を深めるための取組も行ったところです。

今年は、いよいよ「ESDに関するユネスコ世界会議」が岡山市で開催されます。この世界会議を盛り上げるためにも、国際友好交流都市をお招きし、岡山市でのESD推進の取組を通じて市民の皆様と触れ合い、それぞれの都市のESDに関する理解を深めながら、本市におけるESD世界会議の理念を世界に発信し、国際交流の推進に努めてまいる所存であります。

また、本年度、改訂されました多文化共生社会推進プランを基に、岡山市や関係団体の皆様と連携しながら、これまで以上に、多文化共生社会のまちづくりに取り組んでまいります。

どうか今後とも、会員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 祝 友好交流協定締結10周年記念

新竹市

## ◎「新竹市訪問団」の来訪 (平成25年4月9日～10日)

許明財新竹市長をはじめとする総勢49名の新竹市訪問団が来岡し、記念式典や歓迎夕食会に参加し、友好交流協定締結10周年をともに祝いました。

また、滞在中、岡山城、後樂園、総合文化体育館などを視察しました。



記念式典にて(岡山市から「虎の張子」を贈呈)  
右から許新竹市長、高谷前岡山市長、鄭元新竹市議会議長



後樂園で抹茶体験



総合文化体育館視察

## ◎「岡山市民友好親善訪問団」

## 「岡山市・新竹市友好都市議員連盟訪問団」の新竹市訪問 (平成25年4月20日～24日)

両市の友好交流協定締結10周年を記念して、4月20日から24日までの日程で、「岡山市民友好親善訪問団」45名と「岡山市・新竹市友好都市議員連盟訪問団」8名が新竹市を訪問しました。一行は、新竹市政府を表敬訪問したほか、新竹市内や台北市内の施設を視察しました。



新竹市政府表敬訪問

左奥から許新竹市長、則武岡山市議会議長、浦上岡山市・新竹市友好都市議員連盟会長、一人おいて田中岡山市・新竹市友好都市議員連盟副会長



新竹市議会表敬訪問

右5が謝新竹市議長、右4が則武岡山市議会議長



歓迎夕食会



万博台湾館

中華大学日本語学科生との交流会



新竹市消防教育訓練基地視察

## ◎交流のあゆみ写真展

(平成25年4月9日～25日)

岡山市・新竹市友好交流協定締結10周年記念「交流のあゆみ写真展」を市役所本庁舎と南・中・東区役所で開催しました。



## ◎新竹市欣蕾舞踊団が「おかやま国際音楽祭2013」に出演

(平成25年9月28日～29日)



## ◎「サンゼ市高校生親善大使訪問団」の来訪

(平成25年6月12日～17日)

アメリカ合衆国・サンゼ市の高校生12名が来岡し、学校交流、企業見学、市内の家庭でのホームステイなどを通じて交流を深めました。



岡山学芸館高校・清秀中学校の生徒との交流



京山中学校での部活動体験



企業見学



岡山市長表敬訪問



湯郷温泉での足湯体験

## ◎サンゼ市専門家の受け入れ(平成25年6月11日～15日)

岡山市は、国際友好交流都市であるアメリカ合衆国・サンゼ市と、平成4年度から友好交流事業として専門家の相互派遣を行っています。この事業は、両市の民間における交流と様々な分野（建築・医療・災害救助・教育・文化など）における技術協力交流を目的としています。昨年度は、11人目となる大学進学アドバイザーの吉田真弓さんが来岡、岡山市内の施設や高校などを訪問・視察し、学生や教職員と意見交換を行いました。



岡山城東高校での生徒との座談会



岡山後楽館高校を視察



岡山学芸館高校での講義の様子

## ◎「分別ごみ回収ボックス」を寄附

2010年8月にガム準州政府と岡山市との間で友好協定を締結し、観光、教育、文化、環境など幅広い分野において交流を進めています。

そして、これまでの交流の経過を踏まえ、ガム全島でのごみ分別推進のきっかけづくりとなるように、また、岡山市とガム準州の友情の印として岡山市、岡山商工会議所、岡山大学、本協議会が連携し、ガム準州政府に「分別ごみ回収ボックス」を寄附しました。タモン地区を中心とした観光地の施設に置かれ、利用されています。



分別ごみ回収ボックス

## ◎〈第19回〉洛陽市技術研修生帰国

研修期間：平成24年10月2日～平成25年8月30日  
 研 修 先：岡山大学言語教育センター

王雲風さんは外国人客員研修員として日本語教育の改善点に関する研究を行い、論文を作成したほか、岡山大学の「留学生のまちづくり」事業の一環として、宮城県南三陸町・気仙沼市を訪れ、シンポジウム「安心・安全のまちづくり～留学生が見た東日本大震災～」で報告しました。



帰国前の岡山市長表敬訪問  
 (研究した成果を論文にして市長に報告、左が王さん)

帰国前には当協議会主催の「国際交流ふれあい講演会」でも講師を務めました。

## ◎岡山市日中友好洛陽牡丹祭2013

(岡山市日中友好協会との共催)(平成25年4月20日)

岡山市半田山植物園にて岡山市日中友好協会との共催により行いました。色とりどりの洛陽牡丹が咲き乱れる園内で牡丹の育て方教室、中国琴の演奏、中国茶芸コーナー、太極拳の演武、友好交流写真展などが行われました。多くの来園者が満開の牡丹と中国文化を楽しみました。



中国琴の演奏



中国茶芸コーナー

## ◎「富川市民訪問団」の来訪 (平成25年8月2日～5日)

朴漢權富川市行政支援局長をはじめとする富川市代表团7名、金寛洙富川市議会韓中日議員連盟会長をはじめとする富川市議会議員団3名、うらじゃ踊り連27名により構成される富川市民訪問団が8月2日から5日まで来岡し、岡山市長・岡山市議会議長を表敬訪問したほか、歓迎夕食会などの公式行事や「おかやま桃太郎まつり」の納涼花火大会、うらじゃパレードなどに参加しました。



岡山市主催の歓迎夕食会にて(朴団長が挨拶)



岡山市長・岡山市議会議長表敬訪問  
 前列 左5が朴団長  
 左4が金会長



納涼花火大会を観覧



うらじゃパレードに参加

## ◎岡山市・富川市職員相互派遣

両市職員の相互派遣は平成12年度から始まり、今回は第9回目の受入となりました。

富川市職員：李在喜さん

派遣期間：平成25年6月5日～11月30日

研修分野：小規模図書館と連携した図書館多文化サービス活性化の研究



帰国前の岡山市長表敬訪問  
 (右から大森市長、李在喜さん、橋本副市長)

# 国際サマーホームステイ in OKAYAMA 2013



## 趣旨

- ホームステイを通じて、岡山市と岡山市の国際友好交流都市を中心とする子どもたちとの家庭ぐるみでの交流、国際理解の促進を図ります。
- 海外参加者に普段着の日本文化、習慣などを体験してもらいます。
- 岡山の持つ魅力を、子どもたちを通して、海外へ情報発信します。

## 〈海外参加者〉

洛陽市：11名  
富川市：10名  
新竹市：10名  
グアム準州：2名

## 〈岡山参加者〉

生徒：29名  
受入：30家庭

## プログラム

**7月22日 来岡**  
**7月23日**  
**ウェルカムパーティー**



**7月24日 (午前)**  
**上道中学校訪問**



上道中学校吹奏楽部の演奏

グアム生徒の出し物



左から富川市、洛陽市、新竹市の生徒たちの出し物

**7月24日 (午後)**  
**石原果樹園見学**



ぶどうの摘み方を教えてもらう

**7月25日 (午前)**  
**安富牧場見学**



搾りたての牛乳がおいしいよ!

**7月25日 (午後)**  
**たけべの森公園**



カレー作りに挑戦



ぶどう狩り体験



班別ミーティング





プログラム

7月26日  
班別自主活動



班に分かれて、岡山市内を探検



7月27日～  
28日  
ホストファミリーと過ごす  
7月29日 離岡

探検出発前の  
ルート確認



11月9日 報告会

岡山市の参加児童・  
生徒たちが海外の生  
徒たちとの体験交流  
活動について発表し  
ました。

発表の様子

参加生徒の感想

「初めての国際交流」

参加生徒 金子 明日香 さん

私は国際交流をしたのは初めてでしたが、楽しい3日間でした。

今回、私の家では受け入れはしませんでした。3日間グループの人たちと色々な活動をしました。



右2が金子さん

3日間で一番の思い出は、カレーを作ったことです。みんな様々な皮のむきかたをしていて、驚きました。出来上がったカレーはとてもおいしくて、すぐになべが空になってしまいました。おいしかったのはカレーだけではなく、台湾の人にももらったおつまみに似た菓子や牧場で作ったバター、ぶどうなどもおいしかったです。

また、岡山の町をグループで歩く活動の計画をしているときに、神社など外国の人にとってあまり好ましくない場所があるということを初めて知りました。

最後に参加してみて私は英語の勉強をもっと頑張ろうと思いました。理由は今回グループの人たちとあまり話せなかったからです。楽しい3日間でしたが、英語が話せるともっと楽しくなるのではと思います。

国際交流をしているいろいろなことが分かり、参加して良かったです。

「理解しあうことの大切さ」

参加生徒 則武 綾 さん

今回のプロジェクトを通じて、私は多くのことを学びました。ホームステイで受け入れた韓国人のヒョソンとは、英語やジェスチャーで何とかコミュニケーションを取りました。



右が則武さん

言葉では「約束」「茶」「準備」などは、ハンゲルでも全く同じ発音で、驚きました。

一方、韓国では年齢を誕生日ではなく、1月1日で数えるなどの違いもありました。

残念だったのは、少し難しい話になると、たちまち会話がゆきづまってしまったことです。お互いの言語を学べば、よりスムーズなコミュニケーションを取ることができます。これから、私ももっと英語やハンゲルの勉強をしようと思います。

その後も、ヒョソンとはメールや手紙を交わしたり、プレゼントを交換したりして交流を続けています。クリスマスには暖かい手袋が韓国から届きました。

今、日本と韓国との間には、領土問題などを巡って政治的な緊張関係があります。しかし、私とヒョソンのように、お互いが文化を理解しあって、交流を続けられれば、そのような緊張を和らげることができます。今のようなきだからこそ、私たち若い世代が交流を続けることが大切だと痛感しました。

# ボランティア活躍記

## 「恋人たちの聖地を訪れて」

ホームステイ・ホームビジット登録者 合内 民樹 さん

2回目のホストファミリーで、今回は、グアムと洛陽から男の子を受け入れました。グアムから来た子は日本語を2年間程習っているということで、会話には余り支障もきたしませんでした。洛陽から来た子は英語が堪能で、グアムの子が英語で私たちの日本語を通訳してくれるといった感じでした。

日本の風情を知ってもらおうとそうめん流しに出かけ、そこでは水車小屋なども見学しました。洛陽から来た子は海を知らないということで、私の実家がある牛窓にも出かけました。とても大はしゃぎの二人でした。そのあとオーリーブ園に上がり、「恋人たちの聖地」で鐘を鳴らしました。若い二人がこの地で何を祈ったのでしょうか…。

帰国の途に着く岡山空港では、グアムの子の御家族ともお会いすることができ、なんだか親戚が増えたような感じがしました。いろいろ戸惑いながらの受け入れも、何か世界に目が開かれていくような気がしてとても貴重な体験をさせて頂いたと思っております。



牛窓にて  
(左側が民樹さんの奥様と息子、右側が洛陽とグアムから来た学生)

## 「大忙し、楽しさ満載の一週間でした」

ホームステイ・ホームビジット登録者 井上 明彦 さん

ホームステイ受け入れを希望した娘は中学3年生で塾の夏期講座が毎晩、私たち両親には仕事や、会合で送迎できない日もあり…慌ただしく迎えたのは、韓国からの活発で明るい高校1年生の女の子でした。



曹源寺にて(左が明彦さん)

昼間の交流プログラムに参加する二人は、自転車で集合場所へ行き、夕方には寄り道を楽しんで帰りました。韓国と日本の音楽、アイドル、ドラマ、新しくできた各国の友達…二人の興味と話題に言葉の壁はありませんでした。

週末には家族で吉備路、倉敷を歩き、日曜早朝の曹源寺で座禅を体験しました。娘たちは友達を交えて浴衣で七夕祭りへ出かけたり、カラオケを楽しんだり、充実の1週間を過ごしました。中高生の子供を持つ家庭は、塾、学校、仕事…とても忙しく、場所も、時間も余裕はありません。ですが、岡山を訪れる各国の参加者も自国では同じような生活をしているはず、食べ物も、過ごし方も、いつもと同じで良いはずだと割り切ると、私たち家族も、今ならではの貴重な時間を楽しむことができました。家族の一員として過ごした、日本の同世代家庭の本当の生活を、面白い体験だったと感じてもらえたら…と願っています。

# 日本文化体験交流会



第1回(6月29日)「折り紙」  
講師：松田 葉子 さん



第2回(11月30日)「お正月の飾りを作ろう」  
講師：小郷原 昌道 さん



第3回(1月25日)「投扇興」  
講師：田中 克郎 さん



教室名	曜日	時間帯
西川日本語教室	午前	10:15~11:45
	午後	13:30~15:00
	夜間	18:00~19:30
公民館日本語教室	京山	毎週土曜日 10:00~11:30
	岡輝	毎週月曜日 10:00~11:30
	北	毎週火曜日 14:30~16:00

## ◎外国人市民のための日本語教室



(西川日本語教室の様子)  
グループに分かれて授業しています。

## 国際交流ふれあい講演会

平成25年度は7回のふれあい講演会を開催しました。



5月 ユルドウズ・アフメットさん

「古代遺跡・世界遺産の国…トルコ! 見てみたいなあ…」



7月 王 雲風さん

「桃源のような岡山」



8月 朱 セボムさん

「韓国の主要歳時風俗  
(季節の行事)」



9月 木村 正明さん

「子どもたちに夢を!  
晴れの国・岡山からJリーグへ」



10月 ベレイキナ・ジエーニヤさん

「ロシアと日本における  
オリンピック大会の歴史とスポーツ交流」



12月 土田 麻奈未さん

「日本人の幸せ、  
トンガ人の幸せ」



2月 流尾 正亮さん

「世界初!ESD世界会議、  
岡山市で開催!」

## 外国人市民向け多言語生活情報紙「あくら」の発行

岡山近郊のトピックや季節の話題などを採りあげ、編集会議で記事の内容を決めます。年に4回発行しています。

「あくら」は、岡山市在住の外国人に情報提供をするために作られた情報紙です。1992年に初版を発行し、昨年7月に100号を迎えました。5名のボランティア編集委員で制作しており、英語・中国語・ハングル・

スペイン語・ポルトガル語の5ヶ国語に翻訳しています。いにしへの岡山から現在に至るまで、岡山を知るにはまず「あくら」から!  
(片山主計編集委員長)



「あくら」100号記念に関する記事を特集に



あくら編集会議の様子  
(右2が片山主計編集委員長、右1が岸本晴美委員、  
右3が森英志委員、4が片山敬子委員)



## 各種外国語会話教室 平成25年度(5月～翌年3月)に開講した10教室



ハンブル(入門)  
朱 セボム先生



ハンブル(初級I)  
尹 甲辰先生

ハンブル(入門)	火曜日	10:30~12:00
ハンブル(初級I)	火曜日	13:00~14:30
ポルトガル語(入門)	水曜日	10:30~12:00
スペイン語(初級I)	水曜日	13:00~14:30
中国語(入門)	土曜日	10:30~12:00
中国語(初級I)	金曜日	10:30~12:00
中国語(初級II)	金曜日	13:00~14:30
英会話(火曜クラス)	火曜日	15:30~17:00
英会話(水曜クラス)	水曜日	18:00~19:30
英会話(土曜クラス)	土曜日	13:00~14:30



中国語(初級I)  
河田 治先生



中国語(入門&初級II)  
張 興艶先生



ポルトガル語(入門)  
中島 あゆみ先生



スペイン語(初級I)  
グラディス・エステル・パレンスエラ・カルカモ駐



英会話(火曜クラス)  
ヴァンディングネン・ピーター先生



英会話(水曜クラス)  
レニア・ケンペルマン先生



英会話(土曜クラス)  
テッド・エケリン先生

## 国際理解出前講座

(平成25年9月20日、10月8日、11月27日、  
平成26年1月9・10日、1月29日、2月18日の6回)

市内の小学生を対象に、岡山市の国際友好交流都市などについて紹介する「国際理解出前講座」を開催しました。



竹枝小学校にて



政田小学校にて

## あいフェスティバルコーナー

(平成25年12月1日)

第18回目となる人権フェスティバルでの、あいフェスティバルコーナーにて、世界の料理を販売するワールド屋台を設けました。



岡山ドームの会場の様子

## 外国語による絵本の読み聞かせ会

岡山市立幸町図書館との共催  
場所:幸町図書館1階 おはなしコーナー

### ◎中国語でえほんのじかん

(平成25年11月16日、平成26年3月22日の2回)



講師:梶川 楠さん(右)、図書館職員(左)

### ◎ハンブルでえほんのじかん

(平成25年7月20日、平成26年3月15日の2回)



講師:河崎 ユンジョンさん(右)  
図書館職員(左)



講師:李 在喜さん

## 「やさしい日本語」講座

(平成25年11月30日、平成26年2月2日)

岡山市は暮らしやすいまちづくりを進めるため、国籍や文化、生活習慣など、それぞれの違いを認めたくえで、外国人市民もまちづくりに参画していくための環境を整え、共に支えあい共に築く、多文化共生社会を目指しています。

その新たな取組みの一つとして、分かりやすい日本語で情報を伝える方法などを学ぶ「やさしい日本語」講座を2回開催しました。

### 第1回「多文化共生のための日本語を考える」 ～なぜ「やさしい日本語」が必要なの?～

講師：山陽学園大学 山根 智恵 教授

### 第2回 災害時の外国人のための「やさしい日本語」

講師：京都工芸繊維大学 水野 義道 教授



第1回講座の様子



第2回講座の様子

## 外国人市民会議

(平成25年12月8日、平成26年2月9日)

岡山市は、外国人市民による会議を設置し、外国人市民の意見を聴きながら多文化共生社会の実現を目指しています。



外国人市民に対する防災対策についてと多文化共生社会推進プランに関しての意見を聴くなど2回開催されました。

## 多文化共生推進ネットワーク会議

(平成25年12月12日)

市内の外国人市民や外国人市民グループを支援している団体などの代表者が連携し、多文化共生社会実現に取り組むことを目的として開催しています。



平成25年度の会議は、外国人市民に対する防災対策、多文化共生社会推進プラン（2008～2012）などについて議論を交わしました。

## 岡山市外国人市民の方の相談窓口

岡山市国際課と友好交流サロンに外国人市民の方の相談窓口があります。日常生活の相談や行政手続きのお手伝いをしています。(対応言語：英語、中国語、ハングル)

### ●国際課(市役所本庁舎2階)

実施日時：月曜～金曜 [祝日、12/29～1/3を除く]  
9：00～12：00、13：00～17：00

### ●友好交流サロン(西川アイプラザ4階)

実施日時：火曜～金曜 10：00～20：00  
土曜、日曜 10：00～18：00

[祝日(月曜と重なる場合は翌日も)、毎月第2日曜、12/28～1/4を除く]



## 岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市国際課内  
TEL：086-803-1112 (直通) FAX：086-225-5408  
E-mail：kokusaika@city.okayama.jp

〒700-0903 岡山市北区幸町10-16 西川アイプラザ4階 友好交流サロン内  
TEL：086-234-5882 FAX：086-234-5878  
E-mail：oifa@po1.oninet.ne.jp

[http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/kokusai\\_s00157.html](http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/kokusai_s00157.html)